



若小便り



若松小HP用QRコード

令和3年度 若松小学校便り第11号 令和4年2月24日(木) <http://wakamatu.lolitapunk.jp/>

令和3年度重点教育目標 「自尊感情を高め、自ら学び、考え、行動する子どもの育成」

右手のしるし / A Remark You Made by Weather Report 1977

校長 本谷 弘之

『想像してごらん、みんなが平和に暮らしているところを。』

僕は夢を見ているだけ？でも、僕一人じゃない。いつか君も仲間になればいいな。

そして、世界は一つになるんだ♪』

抜粋引用「イマジン」byジョン・レノン（和訳：若松小学校職員一同）

この2月上旬は、オミクロン株による感染者数の激増に合わせ、記録的な大雪による交通機関への影響など様々なニュースが毎日耳に飛び込んできました。そんな中、北京オリンピックで頑張る選手たちの姿は、どれだけ私たちの励みになったことでしょうか。本校の子ども達に関係があるものとするれば、東京オリンピックの開会式で流れていたことから今年度の学習発表会等で器楽演奏した、ジョン・レノンの「イマジン」が、今回も開会式で流れていたところでしょうか。皆が一つになって何かを成し遂げようという時には、やはりこの曲のメッセージが1番心にストレートに伝わってきます。子どもたちの思い出の曲の一つになってくれたとしたら、この曲を選曲、アレンジした者として最高の喜びを感じるところです。

その北京オリンピックで、前回大会に続き、今回も日本代表女子カーリング選手が活躍しています（この学校便りが回覧されている時期にはすでに全試合終了していますね）。勝敗以上に（？）話題になっているのが、前回同様モグモグタイムで食べている物。そして、今回はそれに加えて、毎試合ごとに藤澤五月選手の右手の甲に注目が集まりました。対英国戦の試合中に仲間とハイタッチした際にあげた藤澤選手の右手の甲には、

I am a good curler. I have Confidence! Let's Have Fun!

（私は良いカーリング選手。自信がある！楽しもう！）

と書いていました。世界カーリング連盟はその写真を公開し、「人生の最高のおまじない」と評していました。

「言霊」という言葉があります。スピリチュアルな意味で用いるとちょっと話の内容が変わってきますが、自分で口に出す、言葉にする、文字にすることで結果が変わるということは確かにあるように思います。自分に自信を持てると、物事に取り組む姿勢が変わってくることは、ふだん子どもたちを見ている教員であれば疑う者はないでしょう。また、「あの時の身に付けた自信のおかげで目的を成し遂げた、近づけた」という経験を持っている方々も少なくはないと思います。私自身も同じです。しかし、心に秘めているだけでは苦難に負けてしまいそうになることもあるでしょう。藤澤選手は、文字にして記すことによりプレッシャーの中で自分を鼓舞し、笑顔を絶やさずチームの雰囲気を作り引っ張っていたのでしょうか。

さて、若松小学校はこの一年、様々な取組をとおして自分に自信を持たせようと教育活動を行ってきました。これがコミュニケーション力の向上に影響すると信じて。残りの1か月、皆様のご協力をお願いいたします。

※ ウェザー・レポートは、マイルス・デイヴスと縁の深かったジョージ・サウエルとウェイン・ジョーダーが中心となったアメリカのフュージョン・バンド。1977年に発売された7枚目のアルバム「アヴェイ・ウェザー」は、このバンドの最大のヒット・アルバムとなった。その中の1曲「A Remark You Made (邦題:お前のしるし)」は、キーボードがサクソやベースと対話をするように、ゆったりと優しい空気運んでくれる名曲。彼らのライブ・アルバム「8:30」でのジャコ・パストリアス(ベース)による同曲の表現力が素晴らしい。

閉校間近でも授業研究の手は振きません



1月31日（月）6時間目に、5・6年生の校内授業研究を行いました。閉校を間近に控えているといっても、学校は3月で閉じても先生方の教員生活はまだまだ続きます。ですから、先生方の勉強も手を緩めるわけにはいきません。その前に、若松小学校の研究主題である「自分の考えをもち、伝え合える子どもの育成～主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業づくり」達成に向けての授業は、3学期の修了式まで続きます。子どもたちには、この学校でできる限りの学力を身に付けさせ新たな学校に巣立って欲しいと願っていますから。

ということで、3学期でも忙しい合間を縫ってこのように勉強会をしています。授業のあとは、きちんと時間をとって事後研究を行い、「どこがよかった」「どこを変えたらよかった」「これは次に生かせるね」「次の時間はこんな進め方につなげては？」などと子どもたちの学力をしっかりと定着させるための授業方法について学び合います。今回の授業は、デジタル教科書を使用しての算数の複式授業でした。デジタル教科書を使ったからといって、授業の仕方がこれまでと大きく変化するわけではありません。黒板とチョークはこれまで同様に使うし、ノートも使います。1人1台端末があるからといって、パソコンに打ち込むだけではありません。話し合いに入る前にホワイトボードも使います。デジタル教科書やデジタルコンテンツ、いわゆる ICT は、あくまでも授業の理解を助ける小道具にすぎません。ただ、これまで使用してきた教材教具よりも、子どもたちの興味・関心を高めやすく自由度の高い「教具」です。まして、今後の社会を担っていく子どもたちですから、コンピューターは、あって当たり前の「教具」です。なぜ、「教具」と強調するかというと、コンピューターは人間が使うものであり、人間がコンピューターに使われるものではないからです。AI がいくら発展しても、AI を利用するのは人であるということを、早い段階から子どもたちにも実感させておきたいと思っています。



授業研究から話がずれました。新しい教具が、これまでの学習スタイルを全て変えてしまうわけではありません。いかに効果的に新しい教具を用いるか。どこまでこれまでの教具ととって代えられるのか。それは頭で考えるのではなく、実際に使用してみないと実感できません。子どもたちが閉校に向け、自分の将来に向け一生懸命頑張っているのと同じように、教師もまた子どもたちの力を伸ばすためと同様、自分達の資質を高めようと頑張っている毎日です。

2月16日（水）には、2・3年生の授業研究が行われます。ここでも低学年に適した ICT の活用方法を考慮しながら、子どもたちが自ら学ぶ力や、協働的に学ぶ力を身に付けるための授業改善の方法を模索していきます。

（若松小学校ホームページ、1月31日の「校長ダイアリー」より加筆修正）

子どもたちの活動の様子

1月21日（金）5時間目は、冬休み中に読んだ本や楽しかったこと、作った工作などの発表会を行いました。冬休み中に何度か学校でピアノの練習をしに来ていた6年生のYさんは、きれいなスノードームを作ってきてくれました。同じく6年生のKくんは、オリンピック競技のシンボルマークでもおなじみのピクトグラムについて調べ、学校行事を自作のピクトグラムで表してくれました。5年生のRくんは本棚を、3年生のTくんは電撃イライラ棒を、2年生のMさんは、マフラーを編んできてくれました。



1月28日（金）、2月8日（火）は、丹羽スキー場で低学年にとっては初めてのロープトゥ体験を見事にこなし、そして、2月14日（月）は、ピリカスキー場で若松小学校での最後のスキー学習をしっかりと滑りきってきました。

1月28日（金）3時間目は、2年生のMさんの生活科の授業の一環で、手作りおもちゃのお店やさんが開店。3年生のTくんを従業員に、高学年や先生方がお客さんとなって楽しませてもらいました。



若松小学校の冬のクラブ活動は、みんなで「けん玉」です。2月18日（金）の発表会に向けて、それぞれが課題種目、選択種目で立てた目標達成のために練習を続けていました。ホームページの掲示板では、「30年前の若松小で行っていたけん玉の取組と現在の取組が同じように継続されていることに感動した」という内容の書き込みもありました。ホームページには、このけん玉の練習風景の動画もアップしていますので、興味のある方はぜひご覧ください。

組が同じように継続されていることに感動した」という内容の書き込みもありました。ホームページには、このけん玉の練習風景の動画もアップしていますので、興味のある方はぜひご覧ください。

今月は、12月号に続いての、正田先生の登場です。今月の正田先生と来月の青木先生で、本校教職員のコラムは終了となります。本コラムから、本校教職員の人柄を感じとっていただければ幸いです。

歴史を訪ねて

5・6年担任 正田直之

歴史に興味がなくとも、教科書や資料集に載っていた挿絵や建築物などの写真に興味をもったことがあるという方もいるかもしれません。私も高校生のとき、資料集の写真を見ながら、何となく「綺麗だな」と思ったことがあります。今、考えると、このようなちょっとした思いの積み重ねが歴史を好きになる入口となっていたのかもしれません。学生時代、写真の実物を見る機会がありました。それは、平安時代を勉強したときに覚えた「平等院鳳凰堂」。十円硬貨の表面に描かれている建築物です。やはり実際に見ると感動します。鳳凰が羽根を広げるように建物が横に伸びていて、左右対称の姿が美しい。また、庭園にある湖の水面に平等院鳳凰堂が映し出されるように設計しているのが素晴らしいです。次に、飛鳥時代を勉強したときに覚えた「法隆寺」。五重塔や夢殿、玉虫厨子など写真で覚えたものを実際に見るのは、不思議な感覚になりますし、何年経っても記憶に残ります。帰りのお店屋さんで、葛餅の黒蜜をこぼしたのも良い思い出です。

最後に、実際に見たことがなく、今でも気になっている物があります。それは、「獅子狩文錦」という織物です。中学生のときに、国語の教科書に出てきた「幻の錦」という読み物教材がありました。話のあらすじは、長年、開けられることがなかった法隆寺の夢殿。その中に、納められていた、ある観音像。観音像は、布や紙で何重にも包まれており、その布の一枚が「獅子狩文錦」でした。一方、法隆寺ではなく、シルクロードで探検家が遺跡の発掘でミイラを発見し、そのミイラを包んでいた布のデザイン、織り方が「獅子狩文錦」と同じだったという話です。このロマンあふれる話を讀んだとき、私は、謎解きのような話にワクワクしました。残念ながら、法隆寺で見ることはできませんでしたが、機会があれば、見てみたいものです。学習していると、ふとしたときに自分が興味をもてる教材に出会えることがあります。子どもたちにも、心を惹きつけられる出会いがあることを願っています。



3月の行事予定 (※今後の情勢により変更になることもあります)

日	曜	行事予定	バス	日	曜	行事予定	バス
1	火	全校集会(業間)、安全点検日	14:40	17	木	総練習(2h・業間)、重点練習(3h)	14:40
2	水		14:40	18	金	第119回卒業証書授与式	9時登校
3	木	6年生を送る会(3・4h)	14:40	19	土		
4	金	クリーン作戦	14:40	20	日		
5	土			21	月	春分の日	
6	日			22	火		14:40
7	月	北小一日体験	14:40	23	水	午前授業、修了式・tVET-練習(3h)	12:40
8	火	北小一日体験	14:40	24	木	午前授業、修了式・tVET-練習(3h)	12:40
9	水	児童会・委員会(業間)	14:40	25	金	修了式、解散セレモニー	12:00
10	木		14:40	26	土	学年末休業、PTA総会	
11	金	歌・呼びかけ練習(3h)	14:40	27	日		
12	土			28	月		
13	日			29	火		
14	月		14:40	30	水		
15	火	歌・呼びかけ練習(3h)	14:40	31	木		
16	水	通し練習・式場設営(3・4h)	14:40				